



第7代理事長
増田 順次
(故人)

- 副理事長
稲村 昌男
小此木 一郎
飯塚 倅造
- 専務理事
周藤 年旦
- 総務委員長
大網 勝美
- 財務委員長
別府 季夫
- 広報委員長
川崎 昭一
- 社会福祉委員長
堀越 朋雄
- 教育青少年委員長
吉谷 宗夫
- 経済活動委員長
江原 清
- LT委員長
増子 敬明
- 会員委員長
齊藤 栄吉
- 監事
山口 一巳
長 雄二

スローガン

新時代築く若さと指導力

(日本JCSローガン)

- 会員数 73名
- 年会費 12,000円

この年度は関東地区会員大会と足利JC創立5周年記念式典が重なった翌年で、脱力感、空虚さが窺える年度であった。大会の設営・運営の教訓から特定の人だけが忙しいのを避けて全員が修練の場を与えられる、委員会中心の運営方針により気分一新、総動員令ののってもらえる様、組織改革を行い内部の充実をスローガンとした。先ず、委員会組織を日本JCに合わせ、地区協からの流れをスムーズに受け入れ、直ちに始動可能にする。

委員会には副委員長会計の役をつくり、委員長の補佐に担当の理事を指名し、更に副理事長はいくつかの委員会を統括することにした。会議は飲みながらのバズセッションを止め、三役会、理事会、理事・委員長合同会議、委員会とに分別し、参加する三役、理事もその都度指示、地区内外の行事には輪番で参加するようにした。こうなると事務局は一人では無理、連絡、設営、報告、指示等専務理事的な人が必要になり初めての専務理事制となり、スリーピングメンバーに対する声も高くなり休会退会の勧告も行った。



足利JCの主な出来事

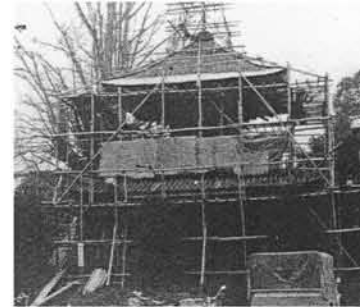
- ◆専務理事制採用
- ◆新潟地震義援金募集
- ◆家族旅行
- ◆交通安全運動協力
- ◆特殊学級慰問
- ◆グランドボール
- ◆中学野球大会



足利市の主な出来事

- ◆大月小学校が落成
- ◆山辺浄水場が完成
- ◆大橋町の浦山重明さんが技能オリンピックで銀メダルを獲得する

- ◆首都圏審議会から市街地開発地域に指定される



鍔阿寺多宝塔の修復工事



昭和39年ごろの通2丁目交差点付近

この年の代表的なニュース

- ◆東京オリンピック
- ◆新潟大地震
- ◆東海道新幹線が開通
- ◆ミロのビーナス展
- ◆キング牧師、ノーベル平和賞受賞

☆流行歌

- ・アンコ椿は恋の花(都はるみ)
- ・涙を抱いた渡り鳥(水前寺清子)
- ・愛と死をみつめて(青山和子)
- ・ウナ・セラ・ディ東京(ザ・ピーナッツ)
- ・お座敷小唄(マヒナスターズ)

☆流行語

- 「おれについてこい」、「ウルトラC」、
- 「アイビー族」